

「最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出伸び率7ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2017.10.19.

平成29年8月の機械輸出額は3兆9,693億円、対前年同月比16.4%増と、7ヶ月連続でプラスとなった。これは、①6地域向けが全てプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な20輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.6%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は11.8%増となった。平成29年9月の為替・営業日要因は4.3%の増加寄与要因となっているが、10月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では9月の機械輸出は11.0%増であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆2,786億円(前年同月比[以下同じ]18.1%増、9ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆1,659億円(15.2%増、8ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:1,126億円、3ヶ月連続の黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆9,693億円(16.4%増、7ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:11.8%増(11ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:1兆9,055億円(14.3%増、6ヶ月連続プラス)

(2) 為替・営業日動向

8月に4.6%、9月に4.3%、10月に11.3%の増加要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 2ヶ月連続6地域向け全てでプラス(図表4)
- ② 北米向け:20.8%増、7ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:23.5%増、10ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:19.3%増、9ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:12.3%増、7ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:11.3%増、13ヶ月連続プラス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:4.3%増、2ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中20業種がプラス。そのうち16業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 産業用ロボット(中国、EU、北米向け中心、7ヶ月連続輸出伸び率上位機種)や発電機(ASEAN・南アジア、その他地域向け中心)、工作機械(中国、北米向け中心)等が大きくプラス
- ② 電池(3ヶ月連続上位)、その他の光学機器(8ヶ月連続上位)、電動機(4ヶ月連続上位)等も好調に輸出
- ③ 鉄道車両が大きくマイナス

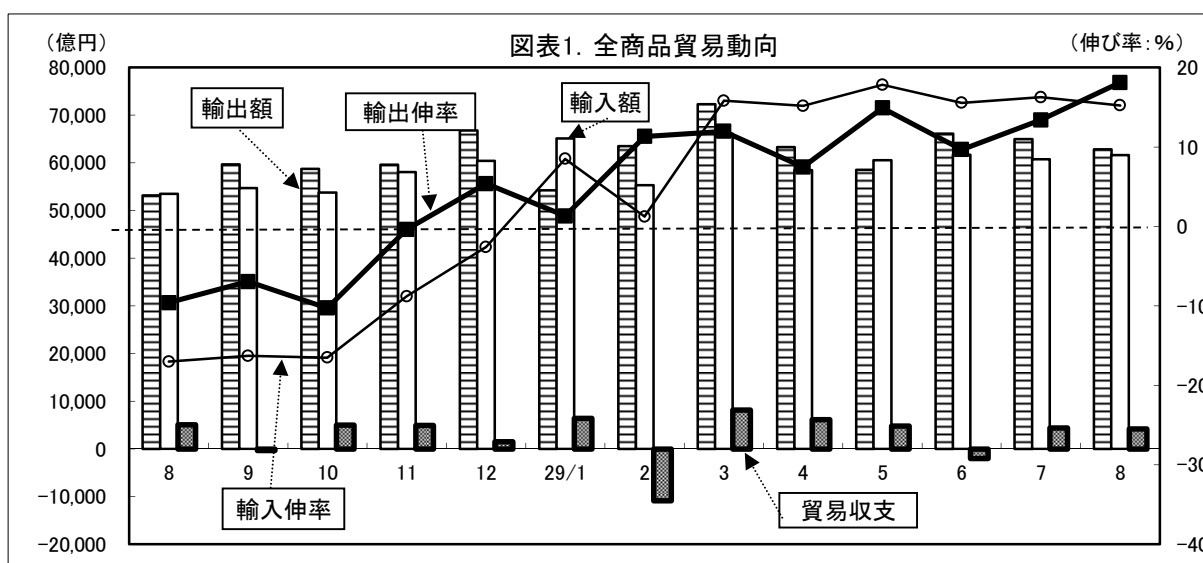
(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、10機種がプラス
- ② そのうち電子デバイス、電子計算機をはじめ、6機種が二桁のプラス

II 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は9ヶ月連続プラス、輸入も8ヶ月連続でプラス～

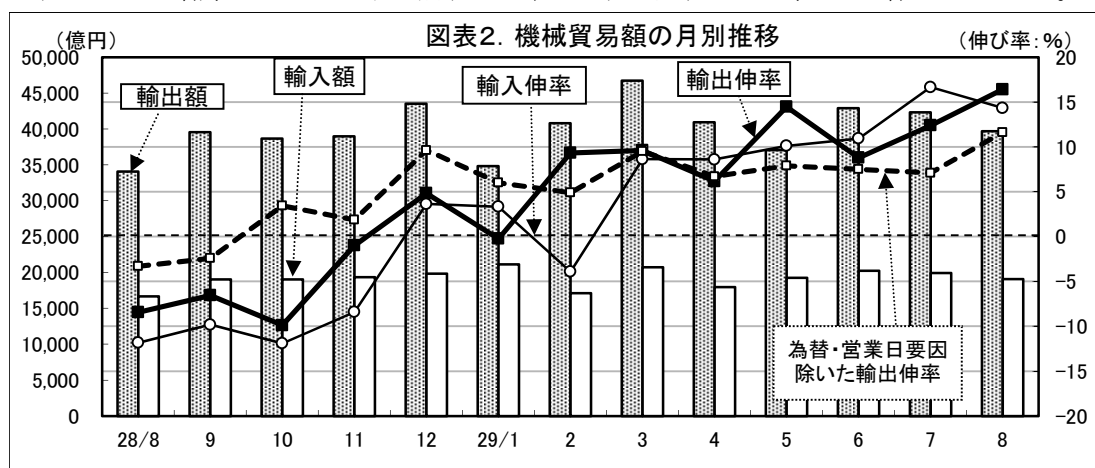
- 1) 平成29年8月の全商品輸出額は**6兆2,786億円**、前年同月比(以下同じ)**18.1%増**と9ヶ月連続でプラスとなった(7月13.4%増)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(18.5%増)がプラスとなった他、約18%を占める電気機器(16.9%増)、輸送用機器(13.9%増)、プラスチック等化学製品(19.9%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆1,659億円**、**15.2%増**と8ヶ月連続でプラスとなった(7月16.3%増)。これは、全輸入額の約21%を占める原粗油等鉱物性燃料(24.3%増)が8ヶ月連続でプラスとなったことに加え、一般機械(23.8%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(15.9%増)、電気機器(10.7%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1,126億円と3ヶ月連続の黒字となった。(7月は4,217億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は7ヶ月連続、輸入も6ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約63%を占める8月の機械輸出額は**3兆9,693億円**、**16.4%増**と7ヶ月連続でプラスとなり(7月12.4%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年8月)と比べると**88.1%**となっており、前月に比べて4.0ポイント改善した(7月84.1%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**11.8%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**1兆9,055億円**、**14.3%増**と6ヶ月連続でプラスとなり(7月16.7%増)、リーマンショック前(2008年8月)の水準に比べ、23.0%増となっている。

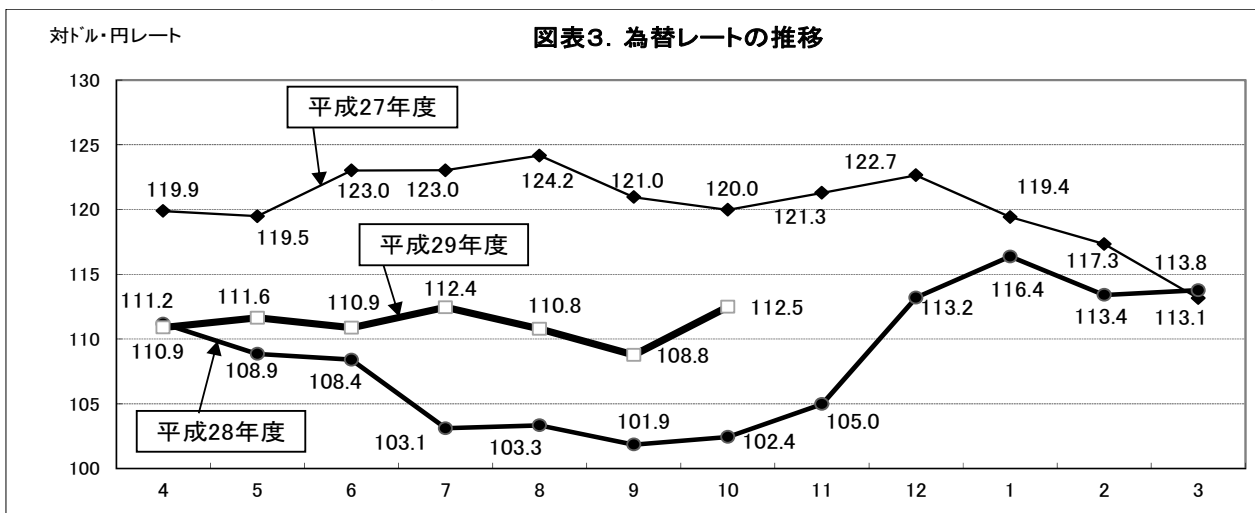


(2) 為替・営業日動向～8月は4.6%の増加要因、9月は4.3%の増加要因～

1) 2017年8月は1ドル=110.8円となり、前年に比べ7.3%の円安となった。また、対ユーロは129.8円と前年に対して13.3%の円安となり、合わせて約4.6%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約4.6%の増加要因となる。8月の輸出額は16.4%増であったことから、実質的伸び率は11.8%増と11ヶ月連続プラスとなった(7月7.1%増)。

2) 2017年9月は1ドル=108.8円で前年比6.8%の円安、対ユーロは130.2円で前年比13.6%の円安となり、合わせて約4.3%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約4.3%の増加要因となる。

3) 2017年10月は、対ドルが10月12日17:00時点の112.5円とすれば、前年に比べて9.9%の円安、また、対ユーロは132.3円で15.7%の円安となり、合わせると約6.0%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.0%の増加要因となり、合計で約11.3%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～2ヶ月連続で6地域向け全てがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.5%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の約52%を占める自動車(27.1%増)をはじめ、産業機械(20.8%増)、重電気機械(21.9%増)等が増加し、**20.8%増**となった。②23.0%を占める中国向けでは、産業機械(34.2%増)、電子デバイス(23.7%増)、自動車(11.0%増)等が増加して**23.5%増**となり、③15.9%のASEAN・南アジア向けは、パキスタン(34.3%増)、シンガポール(31.2%増)、インドネシア(26.2%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(11.3%増)、産業機械(18.1%増)、電子デバイス(14.7%増)、配電機器等軽電気機械(12.1%増)、船舶(2.3倍)等がプラスとなり、**19.3%増**となった。④11.5%を占めるEU向けは、約35%を占める自動車(8.8%増)、産業機械(15.0%増)、理化学用機器等軽機械(14.5%増)等がプラスとなって**12.3%増**となり、⑤10.7%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(2.0%減)が減少したものの、電子デバイス(23.8%増)、自動車(22.9%増)、重電気機械(17.0%増)等が増加して**11.3%増**となった。⑥14.4%のその他地域向けでは、中近東(10.5%減)が二桁の減少となったものの、アフリカ(15.9%増)、大洋州(15.4%増)、ロシア東欧等(12.6%増)向けがプラスとなり、機種では、産業機械(9.4%減)、船舶(22.2%減)がマイナスとなったものの、約64%を占める自動車(9.7%増)がプラスとなって**4.3%増**となった。

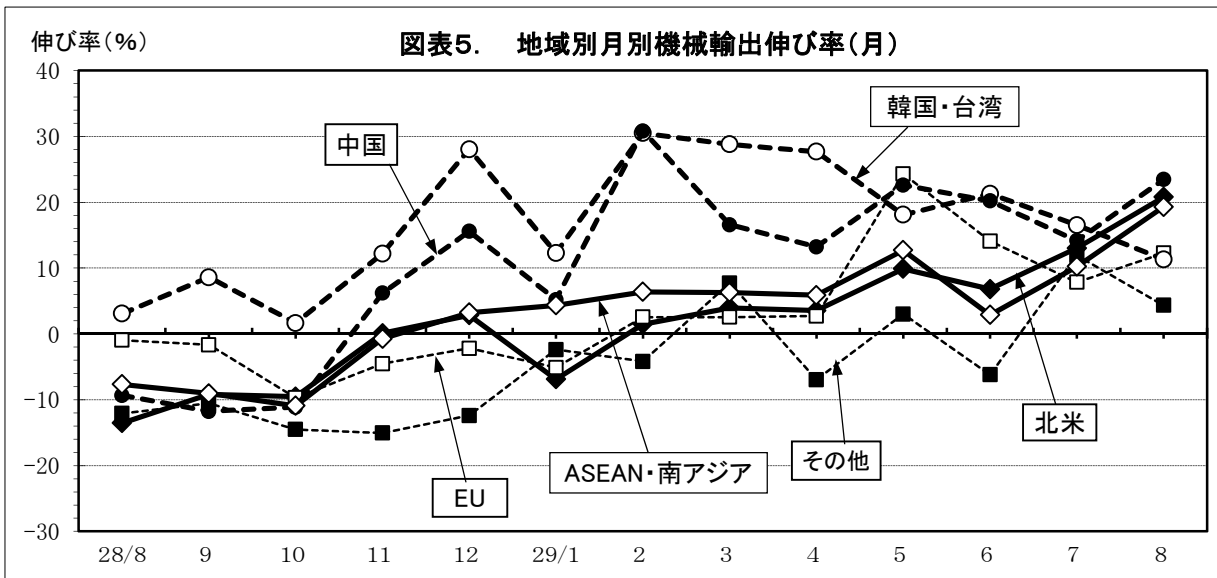
2) また、リーマンショック前の2008年8月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア、北米、中国向けが100%を超え、韓国・台湾向けが90%台、EU向けが60%台、その他地域向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2017/6			2017/7			2017/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,926	8.8	100.0	42,308	12.4	100.0	39,693	16.4	100.0	0.88
北米	10,876	6.8	25.3	11,112	13.0	26.3	9,712	20.8	24.5	1.05
中国	9,406	20.2	21.9	9,027	14.2	21.3	9,127	23.5	23.0	1.03
ASEAN・南アジア	6,077	3.0	14.2	6,237	10.2	14.7	6,319	19.3	15.9	1.08
EU	5,227	14.1	12.2	4,932	7.9	11.7	4,561	12.3	11.5	0.64
韓国・台湾	4,653	21.3	10.8	4,483	16.5	10.6	4,262	11.3	10.7	0.95
その他	6,688	▲6.2	15.6	6,517	11.9	15.4	5,712	4.3	14.4	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

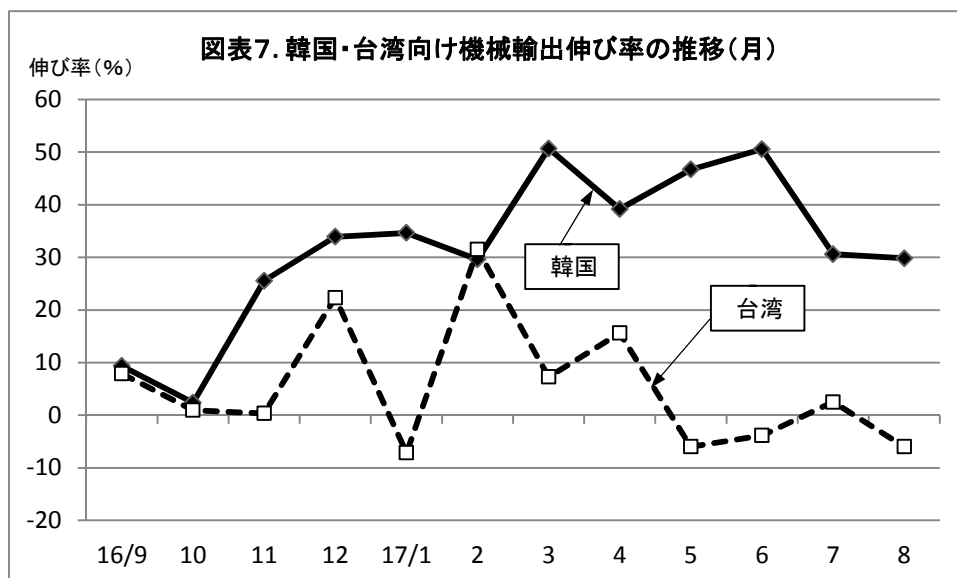


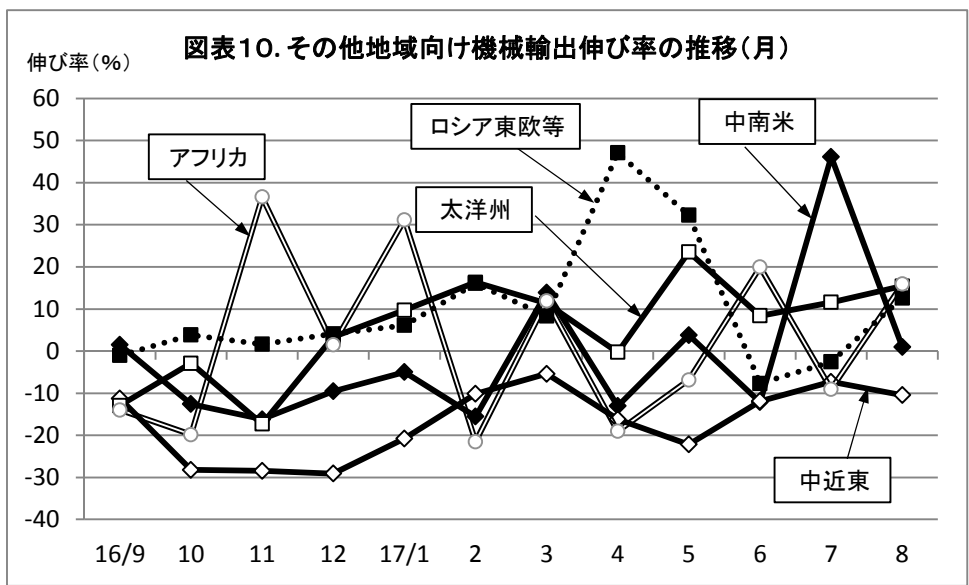
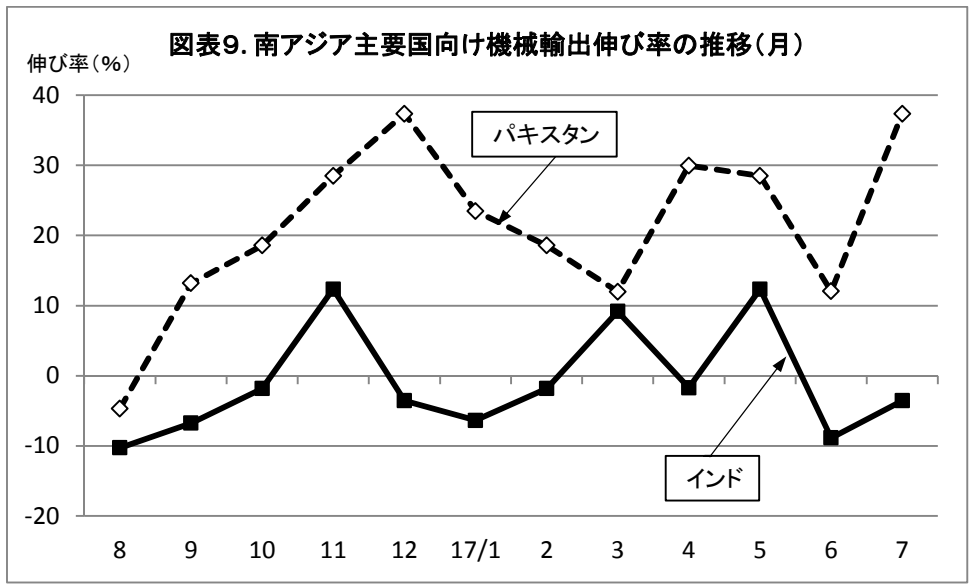
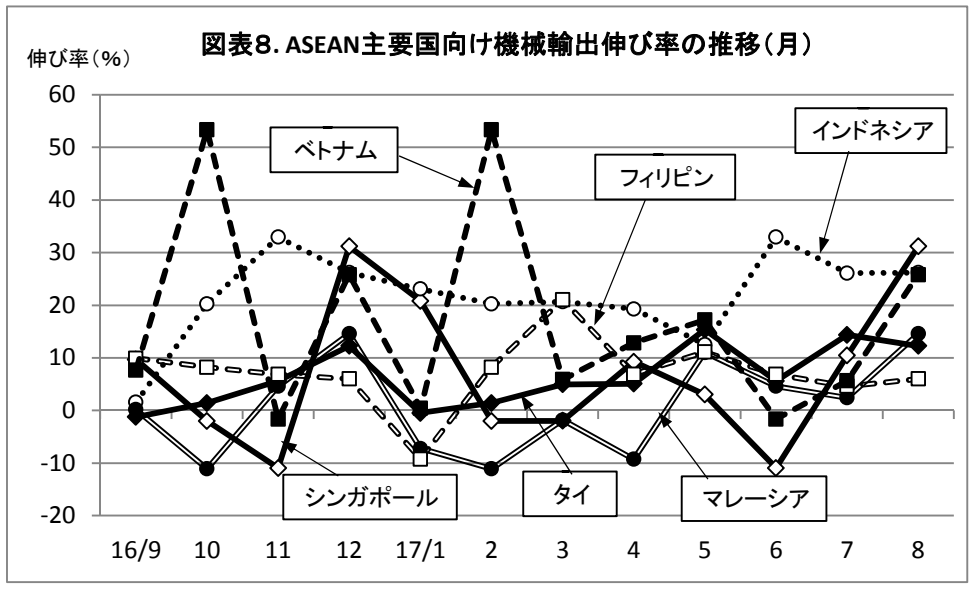
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2017/5		2017/6		2017/7		2017/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,376	46.7	2,669	50.5	2,506	30.6	2,402	29.8
台湾	1,802	▲ 6.0	1,984	▲ 3.9	1,977	2.5	1,860	▲ 6.0
ASEAN・南アジア								
タイ	1,392	15.3	1,575	5.6	1,658	14.3	1,535	12.3
シンガポール	894	3.0	954	▲ 10.9	961	10.4	1,146	31.2
インドネシア	655	12.5	683	33.0	790	26.1	723	26.2
マレーシア	607	11.0	656	4.6	669	2.4	634	14.6
フィリピン	631	11.1	694	6.8	682	4.6	662	6.0
ベトナム	601	17.2	721	▲ 1.6	665	5.6	724	25.8
インド	357	12.3	411	▲ 8.9	404	▲ 3.6	465	10.6
パキスタン	152	28.5	153	12.1	170	37.3	171	34.3
その他地域								
中南米	1,700	3.8	2,168	▲ 12.1	2,262	46.1	1,625	1.0
中近東	1,129	▲ 22.2	1,578	▲ 11.9	1,363	▲ 7.3	1,409	▲ 10.5
大洋州	1,156	23.5	1,370	8.4	1,448	11.6	1,179	15.4
ロシア東欧等	970	32.3	985	▲ 7.7	977	▲ 2.6	923	12.6
アフリカ	424	▲ 6.8	562	19.9	474	▲ 9.0	539	15.9

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 20業種がプラス。うち産業機械等 16業種が二桁の増加～

1)業種別では、鉄道車両(26.0%減)を除く20業種がプラスとなり、前月に比べて1業種減少した。そのうち、自動車(16.2%増)、産業機械(14.2%増)、電子デバイス(19.2%増)をはじめ16業種が二桁の伸びとなり、機械全体で16.4%増となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、繊維機械、軽機械、ベアリング、医療機械、光学機械、工作機械の7業種となった(7月は6業種)。他方、民生用電子機械、電子計算機が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2017/6				2017/7				2017/8				対08/8 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,201	7.8	35.4	自動車	15,099	9.3	35.7	自動車	13,401	16.2	33.8	0.92
産業機械	7,903	15.5	18.4	産業機械	7,678	11.5	18.1	産業機械	7,301	14.2	18.4	0.98
電子デバイス	3,259	11.2	7.6	電子デバイス	3,362	11.7	7.9	電子デバイス	3,512	19.2	8.8	0.81
軽電気機械	2,195	12.4	5.1	軽電気機械	2,177	9.0	5.1	軽電気機械	2,102	12.9	5.3	0.86
重電気機械	2,095	12.6	4.9	重電気機械	2,072	12.5	4.9	重電気機械	2,002	19.0	5.0	0.98
軽機械	1,746	4.2	4.1	軽機械	1,651	6.8	3.9	軽機械	1,646	16.3	4.1	1.25
船舶	1,609	5.2	3.7	船舶	1,454	52.7	3.4	船舶	1,046	5.8	2.6	0.66
民生用電子機械	1,377	1.8	3.2	民生用電子機械	1,409	2.7	3.3	民生用電子機械	1,441	7.8	3.6	0.44
光学機械	1,293	20.8	3.0	光学機械	1,283	22.9	3.0	光学機械	1,438	32.6	3.6	1.08
建設機械	1,179	12.2	2.7	建設機械	1,063	26.6	2.5	建設機械	952	23.5	2.4	0.67
工作機械	793	14.4	1.8	工作機械	814	15.9	1.9	工作機械	793	44.1	2.0	1.04
航空機部品	733	▲ 27.5	1.7	航空機部品	703	5.4	1.7	航空機部品	663	5.9	1.7	1.83
通信機械	523	▲ 6.8	1.2	通信機械	560	26.7	1.3	通信機械	631	17.7	1.6	0.75
医療機械	471	12.9	1.1	医療機械	464	15.6	1.1	電子計算機	479	22.6	1.2	0.47
電子計算機	448	8.6	1.0	電子計算機	449	10.6	1.1	医療機械	418	8.1	1.1	1.10
ベアリング	437	15.9	1.0	ベアリング	426	14.6	1.0	ベアリング	388	21.6	1.0	1.11
陸用内燃機関	396	17.5	0.9	陸用内燃機関	399	20.5	0.9	陸用内燃機関	359	22.1	0.9	0.97
繊維機械	241	37.7	0.6	繊維機械	206	16.9	0.5	繊維機械	210	41.6	0.5	1.30
農業機械	176	▲ 11.5	0.4	農業機械	190	33.4	0.4	農業機械	171	29.0	0.4	0.91
鉄道車両	145	30.7	0.3	鉄道車両	125	36.4	0.3	産業車両	108	10.1	0.3	0.51
産業車両	117	▲ 3.2	0.3	産業車両	122	14.7	0.3	鉄道車両	67	▲ 26.0	0.2	0.75
21業種合計	42,338		98.6	21業種合計	41,708		98.6	21業種合計	39,128		98.6	0.88

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・**産業機械**:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・**民生用電子機械**:デジカメ、TV、部品 ・**電子計算機**:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・**軽機械**:試験・検査機、理化学用機器
 ・**軽電気機械**:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・**光学機械**:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・**通信機械**:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～産業用ロボット、発電機等が大幅増、発電機が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①中国、EU、北米向け**産業用ロボット**(63.5%増)、②ASEAN・南アジア、その他地域向け**発電機**(47.4%増)、③中国、北米向け**工作機械**(44.1%増)、④ASEAN・南アジア、中国向け**繊維機械**(41.6%増)、⑤中国、ASEAN・南アジア向け**電池**(38.5%増)、⑥中国、韓国・台湾向け**その他の光学機器**(33.3%増)、⑦EU 向け **TV**(32.0%増)、⑧北米向け**農業機械**(29.0%増)、⑨中国、北米、EU 向け**電動機**(27.8%増)、⑩中国、ASEAN・南アジア向け**通信機械部分品**(27.3%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(26.0%減)であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2017/6			2017/7			2017/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業用ロボット	234	48.5	通信機械部分品	260	55.0	産業用ロボット	193	63.5
半導体製造装置	2,240	38.2	船舶	1,454	52.7	発電機	80	47.4
繊維機械	241	37.7	産業用ロボット	211	44.3	工作機械	793	44.1
電動機	177	33.0	鉄道車両	125	36.4	繊維機械	210	41.6
金属加工機械	296	32.1	農業機械	190	33.4	電池	265	38.5
鉄道車両	145	30.7	原動力機械	433	30.8	その他の光学機器	1,240	33.3
その他の光学機器	1,083	22.5	電動機	177	30.0	TV	111	32.0
配電機器	551	22.2	電池	245	28.3	農業機械	171	29.0
電池	239	21.8	建設機械	1,063	26.6	電動機	161	27.8
その他の配電制御装置	954	17.6	その他の光学機器	1,094	26.4	通信機械部分品	350	27.3
機種合計	6,160	* 14.4%	機種合計	5,252	* 12.4%	機種合計	3,574	* 9.0%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 **受信変換・その他送受信**:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 **電動機**:業務用モーター
その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 **その他の重電気機器・部分品**:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2017/6			2017/7			2017/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	64	▲ 44.8	発電機	73	▲ 31.0	鉄道車両	67	▲ 26.0
航空機部品	733	▲ 27.5	機種合計	73	* 0.2%	機種合計	67	* 0.2%
通信機械部分品	206	▲ 23.3						
農業機械	176	▲ 11.5						
機種合計	1,179	* 2.7%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機等が大きくプラス～

1) 8月の機械輸入伸び率は14.3%増と6ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち10機種がプラスとなった。そのうち電子デバイス(18.3%増)、電子計算機(25.9%増)をはじめ、6機種が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、航空機・部品等(6.5%減)、携帯電話(21.3%減)の2機種であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、医療機械、白物家電、受信変換・その他送受信機器、配電機器、時計、TVの9機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の36%を占める中国(11.7%増)、ASEAN・南アジア(24.2%増)、EU(19.2%増)、韓国・台湾(30.0%増)、北米(7.9%減)、その他地域(24.4%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2017/6				2017/7				2017/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,331	13.3	11.5	電子デバイス	2,400	18.8	12.1	電子デバイス	2,367	18.3	12.4
乗用車	2,279	10.4	11.3	電子計算機	1,994	31.9	10.0	電子計算機	1,789	25.9	9.4
電子計算機	2,066	33.4	10.2	自動車部品	1,199	20.5	6.0	通信機械部分品	1,593	2.2	8.4
自動車部品	1,168	10.9	5.8	航空機・部品等	1,146	1.9	5.8	乗用車	1,172	19.2	6.2
航空機・部品等	1,138	17.7	5.6	携帯電話	960	2.4	4.8	自動車部品	1,134	10.9	6.0
携帯電話	1,051	▲ 34.5	5.2	乗用車	788	▲ 22.2	4.0	航空機・部品等	932	▲ 6.5	4.9
白物家電	821	1.0	4.1	白物家電	766	7.0	3.8	医療機械	656	3.0	3.4
医療機械	633	1.4	3.1	医療機械	637	9.6	3.2	白物家電	645	3.5	3.4
配電機器	576	15.6	2.8	配電機器	581	26.7	2.9	受信変換その他送受信	582	20.4	3.1
受信変換その他送受信	568	27.0	2.8	受信変換その他送受信	569	31.7	2.9	配電機器	562	11.3	2.9
その他の配電制御装置	426	20.9	2.1	半導体製造装置	479	179.2	2.4	携帯電話	538	▲ 21.3	2.8
半導体製造装置	403	124.4	2.0	その他の配電制御装置	432	23.1	2.2	その他の配電制御装置	422	9.4	2.2
12機種合計	13,460		66.5	12機種合計	11,951		60.0	12機種合計	12,392		65.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等